

エコ学区部門

エコ学区部門とは？

京都市では、環境にやさしいライフスタイルへの転換と温室効果ガスの排出量削減を図るため、地域ぐるみでエコ活動を推進していただく「エコ学区」を支援しています。

第12回京都環境賞では、「エコ学区」を対象としたエコ学区部門（「エコ学区特別推進賞」及び「エコ学区推進賞」）を新設しました。

なお、平成23、24年度に低炭素モデル地区「エコ学区」事業として山科区内の全学区など、先進的にエコ活動を展開していただいた26学区については、今回の表彰の対象から除いています。

エコ学区特別推進賞

副賞
5万円

待賢学区（上京区）



地元の大学と協力したエコイベントの開催や地元の企業によるグリーンカーテンの設置など産学と幅広く連携したエコ活動を実施されています。また、元小学校を利用した生ごみの堆肥化やエコ学区の制度を利用した環境学習会の開催など、多くのエコ活動を積極的に取り組まれました。



エコ学区推進賞

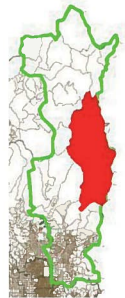
上賀茂学区（北区）

自治連合会と地域ごみ減量推進会議が連携した落ち葉や生ごみの堆肥化などのエコ活動を行うとともに、児童館では環境学習会を実施されました。



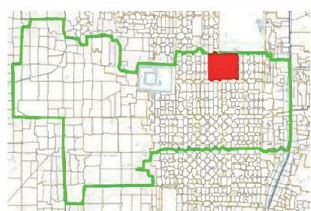
大原学区（左京区）

地元のNPO法人と連携した環境保全活動や学区全体での清掃活動など大規模なエコ活動を実施するとともに、花いっぱい運動によるフジバカマの植栽も行われました。



竹間学区（中京区）

清掃で集めた落ち葉から作った堆肥を利用して、公園で花の植栽を行うなど、緑化活動を通したエコ活動を実施されています。



六原学区（東山区）

自治連合会と地域ごみ減量推進会議が連携して積極的に資源物の回収を行っているほか、エコクッキングの講習会を開催されました。

